

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【公開番号】特開 2020-151554 (P2020-151554A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日 (2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2020-108360 (P2020-108360)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 12 日 (2021.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な第 1 状態と、その第 1 状態よりも遊技球が入球困難になる第 2 状態と、に変位可能な変位入球手段と、

判別条件の成立に基づいて、判別を実行する判別手段と、

その判別手段による判別結果を示す識別情報が表示される表示手段と、

その表示手段に、特定の判別結果を示す識別情報が表示された場合に、前記変位入球手段が所定期間、前記第 2 状態から前記第 1 状態に変位される変位遊技を実行する変位遊技実行手段と、を有した遊技機において、

前記変位遊技が終了した後の遊技状態として、第 1 遊技状態と、その第 1 遊技状態よりも遊技者に有利な第 2 遊技状態と、を少なくとも含む複数の中から 1 の遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、

その遊技状態設定手段により前記第 2 遊技状態が設定されるかを示唆することが可能な特定演出を実行する特定演出実行手段と、を備え、

前記特定演出実行手段は、前記特定の判別結果を示す前記識別情報が表示される期間のうち少なくとも一部と、当該特定の判別結果に基づく前記変位遊技が実行される期間のうち少なくとも一部と、において所定の前記特定演出を実行することが可能であり、

前記遊技機は、

前記第 2 遊技状態が設定される場合に、前記特定演出の実行中に所定の表示領域に特定の表示態様を表示させる手段を有し、

前記所定の表示領域とは少なくとも異なる所定位置において前記特定の判別結果となったことを示すための所定演出を実行可能な構成であり、

前記第 2 遊技状態において前記判別手段による所定の判別がされてから、当該所定の判別を含む複数回の判別がされる期間に渡って継続可能な演出によって、前記所定の判別を少なくとも含む 1 又は複数の判別で前記特定の判別結果となるかを遊技者に対して示唆可能な構成であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球を発射可能な発射手段を備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球が入球困難になる第2状態と、に変位可能な変位入球手段と、判別条件の成立に基づいて、判別を実行する判別手段と、その判別手段による判別結果を示す識別情報が表示される表示手段と、その表示手段に、特定の判別結果を示す識別情報が表示された場合に、前記変位入球手段が所定期間、前記第2状態から前記第1状態に変位される変位遊技を実行する変位遊技実行手段と、を有し、前記変位遊技が終了した後の遊技状態として、第1遊技状態と、その第1遊技状態よりも遊技者に有利な第2遊技状態と、を少なくとも含む複数の中から1の遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、その遊技状態設定手段により前記第2遊技状態が設定されるかを示唆することが可能な特定演出を実行する特定演出実行手段と、を備え、前記特定演出実行手段は、前記特定の判別結果を示す前記識別情報が表示される期間のうち少なくとも一部と、当該特定の判別結果に基づく前記変位遊技が実行される期間のうち少なくとも一部と、において所定の前記特定演出を実行することが可能であり、前記遊技機は、前記第2遊技状態が設定される場合に、前記特定演出の実行中に所定の表示領域に特定の表示態様を表示させる手段を有し、前記所定の表示領域とは少なくとも異なる所定位置において前記特定の判別結果となったことを示すための所定演出を実行可能な構成であり、前記第2遊技状態において前記判別手段による所定の判別がされてから、当該所定の判別を含む複数回の判別がされる期間に渡って継続可能な演出によって、前記所定の判別を少なくとも含む1又は複数の判別で前記特定の判別結果となるかを遊技者に対して示唆可能な構成である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第1状態と、その第1状態よりも遊技球が入球困難になる第2状態と、に変位可能な変位入球手段と、判別条件の成立に基づいて、判別を実行する判別手段と、その判別手段による判別結果を示す識別情報が表示される表示手段と、その表示手段に、特定の判別結果を示す識別情報が表示された場合に、前記変位入球手段が所定期間、前記第2状態から前記第1状態に変位される変位遊技を実行する変位遊技実行手段と、を有し、前記変位遊技が終了した後の遊技状態として、第1遊技状態と、その第1遊技状態よりも遊技者に有利な第2遊技状態と、を少なくとも含む複数の中から1の遊技状態を設定する遊技状態設定手段と、その遊技状態設定手段により前記第2遊技状態が設定されるかを示唆することが可能な特定演出を実行する特定演出実行手段と、を備え、前記特定演出実行手段は、前記特定の判別結果を示す前記識別情報が表示される期間のうち少なくとも一部と、当該特定の判別結果に基づく前記変位遊技が実行される期間のうち少なくとも一部と、において所定の前記特定演出を実行することが可能であり、前記遊技機は、前記第2遊技状態が設定される場合に、前記特定演出の実行中に所定の表示領域に特定の表示態様を表示させる手段を有し、前記所定の表示領域とは少なくとも異なる所定位置において前記特定の判別結果となったことを示すための所定演出を実行可能な構成であり、前記第2遊技状態において前記判別手段による所定の判別がされてから、当該所定の判別を含む複数回の判別がされる期間に渡って継続可能な演出によって、前記所定の判別を少なくとも含む1又は複数の判別で前記特定の判別結果となるかを遊技者に対して示唆可能な構成である。